

第3検討部会 会議録

会議の名称	第4回 第3検討部会
開催日時	平成19年9月29日(土) 18時30分から20時50分
開催場所	川口市役所第二庁舎 地下第1会議室
出席者	(部会長) 佐藤副委員長 (委員) 佐々木委員、増田委員、松本委員、浅羽委員、伊田(清)委員、鈴木委員、森委員
会議内容	・自治とは何か ・総合計画の課題と自治基本条例との関連性について ・ワークショップ「自治の観点から総合計画を考える」
会議資料	・「自治」とは何か ・第3次川口市総合計画のしくみ ・川口市総合計画実施計画策定要綱 ・第3次川口市総合計画(一部抜粋) ・ワークショップ資料 ・ふりかえりシート
発言内容	1. 自治とは何か (佐藤部会長より説明) (質疑は特になし) 2. 総合計画の課題と自治基本条例との関連性について 1) 川口市総合計画の現状と問題点 (総合政策課長より説明) 2) 総合計画の課題と自治基本条例(事例) (NRIより説明) (以下質疑) ・ニセコ町では、総合計画と予算の連動等が自治基本条例に規定されているが、実際に実行されているのか。 自治基本条例は、方針レベルまでしか書かれていない。完全に計画と予算を連動させなければならないというものではない。 自治基本条例での規定をどのように実現化していくのかは、行政組織の市政や市長のリーダーシップによるところが大きい。 ・重要性や緊急性が高い課題については市長の判断で政策を実行していくとあるが、具体的にそのようなことは行われているのか。 災害面では特に市長の判断が重要となる。そのような事例はある。

- ・重要事業とはどのような位置づけの事業であるのか。
必要性が高く政策的経費で行う新規の事業を重要事業と位置づけている。重要事業に対して経常的経費で行う通常事業は、継続性があるもので予算としては大半を占めている。新規事業を経常的経費に埋もれさせないために重要事業として位置づけている。
- ・新規事業を予算化するかどうか、選択と集中を進めるためにどのような判断基準や仕組みがあるのか。
総合政策課がとりまとめている。要求の 1/3 程度しか認められていない。
判断基準としては、必要性、緊急性の高さを重視している。現状では、分野として、安全・安心、子育ての観点を重視している。

3. ワークショップ「自治の観点から総合計画を考える」

(以下出された意見)

総合計画の内容について

- ・なぜ、なんのための総合計画か？
(総合計画がなぜ必要か)を知っている市民は少ない
- ・市民の課題からみた計画になっていない
(行政からみた計画になってしまいがちなのでは)
- ・総合計画が各地域に落ち込んでいない。
地域単位の総合計画(コミュニティ計画)があると身近なものとなる
- ・総合計画がどのように個々の個別計画に反映されているのか。ばらばらにつくられているのではないか。
- ・総合計画を市民が見た時、全体像が見えにくい(網羅的すぎて)
- ・もう取組まなくてもよい課題があるのではないか
- ・マニフェストとの連動性が見えにくい(かえってマニフェストの方が市民にはわかりやすいが...)
- ・総合計画の中の各課題の重要性がはっきりしていない
(何を優先させるのか...等)
- ・重要性、優先順位の判断機能に市民全体の意見意思が反映されていない。
- ・総合計画にのってないと新規に予算をつけてもらって事業を開始するのがむずかしいとなると、計画が網羅的になるのはある程度しかたないのではないか
このため優先順位とその基準を明らかにすべきではないか
- ・重要事業と位置づけをする判断基準は行政だけが決めるのはどうなのか
- ・各部署からの積み上げになっているが、本当にそれでいいのか(住民が望む課題と部署は必ずしも一致しない)

計画の目標設定における問題

・計画の数値目標等の市民の満足度、実感が得られる根拠がない。(市民の意見が反映されていない)

・計画の目標の施行状況を説明していない

計画の策定過程における問題

・市民の意見がどこまで反映されているのかが不明

何をもって市民の意見とするかが明らかでない。(私の声は市民の声か?)

・パブリックコメントも一方通行の返答かつ当初の計画はパブリックコメントでは変わらないと感ずるのだが...(形だけ?)

・計画策定段階で、市民参加が足りない!

(50万人の市民の内、どれだけの人が関与したのか)

・計画の見直しの時に反映されている市民の意見は、一回(単発)で少ない

・策定のための市民参加は十分かどうかはわからないが、されています。策定されたあとの市民へのフィードバックが弱いのではないか。

・総合計画の基本計画実施計画の市民全体の声、意見が広く反映されていない(一部の市民、団体代表のみ)

・住民がこの総合計画をどこまで知っているのか?

・総合計画の存在が一般市民にあまり、知られていない(P.R不足)

・計画の内容を地域住民に説明がなされていない

・基本構想を市民が知らない(周知は一方的)

・総合計画は、(住民)市民に周知されていない(一方的)

・総合計画の重要性について、市民への働きかけが少ない(メリットを伝える)

・決定の基準が不透明で、市民にわかりにくい。(理由が記載されていない)

・策定段階の会議(審議会 委員会)形式だけになっていないか(行政が案を出し、委員が承認するだけのものになっていないか?)

計画の実効性確保の問題

・計画の認識が各課でされていない

・単年度予算による実施計画策定で果たして良いのか

・計画と予算の関係が明確にされていない

・「総合計画」と「財政」の関係は、「行政計画」が優先されるべきでは(現状はどうなってるか)

・課題と部署が一致しない時、その課題を扱う部署がいないと、計画にも反映されない

・目標数値は市民の目標?行政の目標になっているのでは

・計画の進行・運営管理と自治基本条例との関連・法的根拠を持たせるこ

	<p>とが現状ない（できるのか？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の中身（政策）に対する一般市民の関心度が低い ・市民には自分たちのまちの総合計画であるという認識が乏しい <p>計画の統制に関する問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に掲げられた目標数値が市民との間で共有化されていない ・計画運営に市民のマネージメント機能が働いていない <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治の限界を見据えた総合計画になっているのか？ ・他の市・県・国との関連 ・川口市の独自性が欠けている
次回以降日程	<p>第5回 10月18日（木）18：30-20：30</p> <p>第6回 10月27日（土）18：30-20：30</p> <p>第7回 11月 1日（木）18：30-20：30</p> <p>第8回 11月22日（木）18：30-20：30</p>